

【令和2年度の認知症施策の取組み】

- 1 認知症初期集中支援チームの活動
- 2 市民への普及啓発
- 3 人材育成と活用
- 4 認知症の人と家族の居場所づくり
- 5 関係職員の認知症対応力の向上
- 6 地域づくり
- 7 発症予防の推進



今年度の認知症施策について報告いたします。
大きく7つの項目について取り組んでいきます。
その中で1「認知症初期集中支援チームの活動」と2「市民への普及啓発」について重点的に取り組んでいきたいと思っております。

● 認知症初期集中支援チームの活動

【支援の目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築すること

【支援チームの役割】

訪問支援対象者及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う

【支援チーム員の構成】 3チームで実施

- 地域包括支援センター 1チーム
 - (医)宇和島徳洲会病院 1チーム
 - (財)正光会宇和島病院 1チーム
- ・チーム員は専門医(サポート医)1名と専門職2名の3名とする。



【活動状況】 支援事例 7名(7月現在)

- ・全体会(連絡会合同) 8月開催予定

まず、認知症初期集中支援チームの活動について報告します。

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築すること

【支援チームの役割】

訪問支援対象者及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行います

【支援チーム員の構成】

昨年度に引き続き、今年度も宇和島徳洲会病院と正光会宇和島病院に委託を受けていただくことになり、3チームでの体制で実施します。

チーム員としましては、専門医1名と専門職2名の3名体制で行います。

【活動状況】

前年度は、年間で11名の支援を行いました。

今年度も、認知症というキーワードから、まず認知症推進員が初動で動き、実態把握をしたあと、初期集中支援チームとしての動きをしていきます。

7月末時点で、初期集中の実績としましては、現在7名です。包括で3件、委託先が4件もって動いているところです。

今後はサポート医、委託先のチーム員を含めた全体会の開催し、初期集中支援チームの体制を強化していきたいと思えます。

また、初期集中支援チームの啓発、周知を推進していくためにちらしを各関係機関、窓口や公民館などに配布し普及啓発を継続して行っていきたいと思えます。

●市民への普及啓発

①だんだんネット模擬訓練の実施

【目的】

日常的な安否確認や、高齢者の異常を早期に発見し適切な対応を学習する機会をもつことで、地域全体で高齢者を見守るという意識を向上させ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できる地域社会の実現を目指す。

【実施概要】

- ①認知症に関する正しい知識の啓発とだんだんネットワークの周知
- ②認知症の人が行方不明になったという設定のもと、行方不明者の捜索や声かけ、対応訓練を実施

【実施日時・会場】

- 日時：令和2年12月6日（日） 13:30～15:40
- 会場：パフィオうわじま及び恵美須町・鶴島町圏域（予定）

次に、市民への普及啓発事業についてです。

【事業目的】

・高齢者人口の約20%が認知症高齢者といわれるますが、高齢化が著しく進む宇和島市においても、今後、ますます認知症高齢者が増加することが予測されます。そこで、市民一人ひとりが認知症に関心を持ち、地域全体で高齢者を見守る体制が必要不可欠となります。

認知症になってもならなくても、住み慣れた地域で安心して生活を継続できる宇和島市を目指し、地域全体で認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進を図るため、本年度は2つの事業を実施する予定です。

まず、一つ目に、「だんだんネット模擬訓練」を実施します。

【概要】

- ①認知症に関する正しい知識の啓発とだんだんネットワークの周知
- ②認知症の人が行方不明になったという設定のもと、行方不明者の捜索や声かけ、対応訓練を実施

【実施日時・会場】

・12月6日（日）13:30～15:40、パフィオうわじま及び恵美須町・鶴島町圏域で行います。

【内容】

・福岡県大牟田市 梅本政隆先生をお招きして、助言をいただきながら訓練を開催します。

(※認知症に関する先駆的な取り組みで知られています。平成7年から模擬訓練を実施し、平成14年以降は3000人を超える市民が参加。各校区の実情や課題に応じた訓練を地域住民や商店、小中学校、高校と協力して毎年実施しています。)

・パフィオうわじまでだんだんネットの概要説明、搜索訓練の概要説明および見守りや声かけ方法の確認を行います。

・次に恵美須町商店街、鶴島町圏域を対象に、高齢者役をたてて、実際に外に出て搜索模擬訓練を行います。

②VR認知症体験会

【目的】

- ①認知症に関する正しい知識を学習する機会にする。
- ②VR体験を通して認知症の方が見えている生活を疑似体験し、参加者自身が認知症を自分事として考えるきっかけを作る。
- ③地域で認知症の方とともに暮らしていくことについて考え、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域を作る一員となる。
- ④だんだんネット模擬訓練の周知。

【実施日時】 令和2年11月15日(日)①10:00～ ②13:30～

【実施会場】 パフィオうわじま

【対象】 宇和島市民 80名(定員40名/回・事前申し込み制)

二つ目に、「VR(バーチャルリアリティー)認知症体験会」を行います。

【目的】

- ・だんだんネット模擬訓練と協働して、実施します。
- ・VR体験を通して認知症の方が見えている生活を疑似体験し、参加者自身が認知症を自分事として考えるきっかけを作る。

【日時・会場】

- ・11月15日(日) ①10時～ ②13時30分～
- ・パフィオうわじま

【定員】

- ・一回で40名を定員としています。事前に申込みをしていただくようにしています。

現在、ちらしを作成中です。広報等で周知を行っていく予定ですので、ぜひお時間の取れる方はどうぞよろしくお願いいたします。

③認知症ケアパスの更新

④認知症お役立ちノートの増刷



⑤認知症サポーター養成講座の開催

受講者にアンケートを実施し、受講者のうち希望者に、今後、認知症に関する学習会や講座等の情報提供を行う仕組みを構築。

そのほか、認知症ケアパスの情報を更新し、認知症お役立ちノートの増刷を行いました。これらを活用し、認知症の窓口等の啓発のため、医療機関、オレンジドクターや歯科医師会、薬局、警察署や居宅介護事業所、道の駅等に配布しているところです。また、随時、窓口相談に来られた家族等にも配布して行く予定です。

認知症サポーター養成講座も、引き続き、希望団体に向けて講座を開催しています。今年度から講座終了後に受講者にアンケートを行い、希望者に対して、今後、認知症に関する学習会や事業等の情報提供を行える仕組みを構築しています。